

多収で良食味の水稲極早生品種 ‘にじのきらめき’

農林水産研究所

‘にじのきらめき’は農研機構が育成した高温登熟条件下でも品質の良い、極早生のうるち品種です。‘あきたこまち’に比べ出穂期は7日、成熟期は5日遅く、‘コシヒカリ’と同等です。短稈で千粒重が重く、収量は‘あきたこまち’よりも高く、炊飯米の食味は‘あきたこまち’並に良好です。

穂が葉の中に隠れるため
穂の温度が上がりにくく、
高温登熟障害が起こりにくい



にじのきらめき 草姿

にじのきらめき 玄米



あきたこまち 玄米



生育・収量及び品質

品種	出穂期 (月/日)	成熟期 (月/日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	倒伏 程度 (0-5)	精玄 米重 (kg/a)	千粒 重 (g)	整粒 割合 (%)	玄米 タンパク (%)	食味 総合	等級
にじのきらめき	8/13	9/18	77	21.7	308	0.0	62.9	23.7	67	6.2	0.27	1.2
あきたこまち	8/6	9/13	91	20.6	286	0.5	54.6	22.8	81	6.9	0.00	1.0
コシヒカリ	8/11	9/17	99	20.4	326	3.7	57.4	22.0	72	6.4	0.08	1.5

※2021～2022年の平均値。移植日:6/15～16 栽植密度:15.2株/m² 基肥6Nkg/10a - 穂肥4Nkg/10a

※玄米タンパク質:静岡製機TM-3500で測定(水分14.5%換算)

※食味総合の基準品種は‘あきたこまち’

- 短稈で耐倒伏性に優れ、良食味で多収の極早生品種です。
- 岡山県、佐賀県、和歌山県など13県で作付されています。